

福島県立視覚支援学校・福島県立聴覚支援学校福島校

【発行所】

福島県立視覚支援学校・  
福島県立聴覚支援学校福島校  
後援会

〒960-8002 福島市森合町6番34号

TEL 024-534-2574

FAX 024-533-2470

E-mail fukushima-sb@fcs.ed.jp

# 後援会会報

第17号

## 「パリ2024パラリンピックの活躍に感謝して」



福島県立視覚支援学校・聴覚支援学校福島校 後援会長 西山 尚利

会員の皆様には本会の活動に深い御理解と温かい御支援を賜り、心から感謝申し上げます。先生方の御尽力のおかげ様で、視覚支援学校・聴覚支援学校福島校で学ぶ幼児・児童・生徒が自分の目標に向かい学習・体育活動に励み、生活全般にわたり充実した時間を過ごすことが出来ました。厚く御礼申し上げます。

さて、昨年夏のパリ2024パラリンピックでは女子柔道48kg級で半谷静香選手が「銀メダル」、陸上女子400mで佐々木真菜選手が「第7位入賞」と本校OGのお二人が快挙を成し遂げました。母校で行われた報告会ではパラリンピックに臨むに当たり緻密な作戦や練習また心構えがあった事を話してくださり、厳しさや困難を乗り越えた素敵な表情に感動しました。これからも本校卒の誇りを胸に後輩にエールを送っていただきたいと思えます。

フロアバレーボール競技東北大会においては、全国大会出場を目標に闘志あふれるプレーで最後まであきらめない素晴らしい試合を見せてくれましたが、惜しくも敗退してしまいました。しかし、フロアバレーボールを通して育んだ絆・感謝・感動は、選手はもちろん学校や生徒、関係者にも大きな喜びとなりました。これからも様々な場面で様々な経験を積み、何かを感じ体得し、将来に向かって繋がって行くよう望みます。

どのような環境にあっても、子どもが学校や地域・社会で共に学び、共に生きる教育を推進するという理念のもと、これからも後援会活動を続けてまいります。引き続き、学校教育の充実発展のため、後援会活動に対しましても一層の御支援・御協力をお願い申し上げます。

本年がみなさまにとりまして平和な優しい温かい一年となりますようお祈りいたしまして御挨拶いたします。感謝



## 「御礼」

福島県立視覚支援学校長・聴覚支援学校福島校分校長 佐藤 清悦

日頃より後援会の皆様には、視覚支援学校及び聴覚支援学校福島校の教育活動に御理解と御協力を賜り、深く感謝申し上げます。

今年度も本会へ賜りました御厚情は、各行事や寄宿舎設備の充実、各種教材、学習環境整備等に有効に活用させていただいております。あらためて御礼申し上げます。

さて、視覚支援学校では今年度、学校祭「しゃくなげ祭」を実施いたしました。来場者の制限を解除するなど、6年ぶりに開催されたことで、たくさんの方に来校いただき、子どもたちのがんばる姿や元気いっぱいの笑顔を届けることができました。また、小学部での宿泊学習や中学部による職場体験、高等部での陸上記録会やジョイントコンサート等への助成、さらには、福島校における幼稚部の遠足や小学部の豆まき会など、多大なる助成を賜りまして、両校ともに教育活動を充実させることができました。本当にありがとうございました。

幼児児童生徒には、今後も、新しい体験や楽しい経験から、学ぶことの楽しさや人とかわるることの大切さを学び、より豊かな心を育ててほしいと考えます。今後も、魅力あふれる体験的な活動を企画し、子どもたちの豊かな感性や創造性を育み、主体的に学べる環境をつかっていきたいと思えますので、会員の皆様におかれましても、引き続き、本校と聴覚支援学校福島校への御協力と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

教育活動報告

会員の皆様よりいただいた会費は、視覚支援学校・聴覚支援学校福島校の教育活動の中で、有効に使わせていただいております。ここでは、多くの補助を受けて実施された教育活動の中から、学校行事等での児童生徒の様子を紹介いたします。

視覚支援学校 小学部 4. 5年宿泊学習 ～力を合わせて、がんばりました！～

小学部 4. 5年生は、11月14日（木）～15日（金）に宿泊学習を実施しました。宿泊は、伊達市月舘町にある「つきだて花工房」敷地内の「どんぐりの家」。一棟貸しの施設内にはいろいろやかまどがあり、昔ながらの調理体験ができます。児童は事前学習で学んだことを生かし、どの活動にも自信と責任をもって取り組んでいました。声を掛け合い、協力し、互いを認め合う姿は、さすが4. 5年生！みんなで作ったカレーライスは最高においしかったです。

(小学部主事 高橋 和代)



視覚支援学校 中学部 「しゃくなげ祭～CAFE しゃくなげの森～」

今年度のしゃくなげ祭では、高等部普通科と合同で「CAFEしゃくなげの森」を運営しました。開店に向け、中学部の生徒2名は、YY工務店として内装を担当しました。「森の中で飲むおいしいコーヒー」からイメージを膨らませ、森の木を緑の画用紙と段ボールで、青空を風船でと、イメージを形にしていきました。開店準備は高等部と合同で行い、話し合いながら準備を進めることができました。当日は、多くのお客様が来店してくださり、達成感が感じられた一日になりました。

(中学部主事 大橋 清香)





視覚支援学校 高等部普通科 「第11回ジョイントコンサート開催」

12月17日(火)本校体育館にて、第11回ジョイントコンサートが開催されました。コンサートには、福島高校合唱部8名、橘高校合唱部20名、大笹生支援学校11名、普通科6名の計45名の生徒が参加しました。本校生徒の発表では、美しく、のびやかな歌声を二重唱という形で発表したり、混声3部合唱で気持ちを込めて歌ったりすることができました。生徒からもっと交流をもちたいといった昨年度の反省から、別々の童謡曲を同時に歌うとハーモニーを奏でることができる「パートナーソング」のレクリエーションをしました。他の学校の生徒と息を合わせて歌い、楽しみました。(高等部普通科長 大友 洋平)



視覚支援学校 高等部理療科 「日々努力しています」

理療科は3年間の職業教育課程で、卒業学年の2月にあん摩マッサージ指圧師・はり師・きゆう師の国家試験を受験します。合格するとその国家資格を生かし、健康の保持増進や疾病の治療に携わる理療師という魅力ある仕事に就き社会で活躍することができます。しかしその国家試験の難易度は徐々に高くなっており、合格率は回を重ねるごとに低下し、現在では全国平均で概ね6割程度となっています。多くの生徒が大変な思いで学習に取り組んでいます。そのため例年3年生は5月から放課後の補習を開始し、夏季休業中の補習、年6回の模擬試験、特別時間割などを経て国家試験当日を迎えます。そこでは国家試験に関係する多くの教材を活用しており、本校ではその厳しい状況の中でも合格率は9割前後の高い水準を維持できています。今後も教材を大いに活用し、生徒の社会自立に向けて支援していきたいと思えます。

(高等部理療科長 小池 佳郎)



聴覚支援学校福島校 幼稚部「秋の遠足」・小学部「合同学習発表会」

幼稚部では、10月18日(金)に「ももRabiキッズパーク」と「ぴよんぴよんドーム」へ行きました。広々とした砂場で思い思いに砂の感触を味わったり、山型のトランポリンで友達と一緒に飛んだり跳ねたりとたくさん体を動かして楽しみました。

小学部は、10月19日(土)に福島第四小学校と合同で学習発表会を実施しました。『聴導犬を知ろう!』をテーマに、各自で調べたことを劇やレポートにまとめて発表しました。自分の役割に一生懸命取り組み堂々と発表する姿に、観客の皆さんから大きな拍手をいただくことができました。(聴覚支援学校福島校 教頭 志賀 美保)



# 「パリ2024パラリンピック競技大会報告会」

10月1日(火)にパリ2024パラリンピック競技大会、柔道競技女子48キロ級J1クラスに出場し銀メダルを獲得した半谷静香選手、陸上競技女子400mT13クラスに出場し7位に入賞した佐々木真菜選手が来校されました。視覚支援学校、聴覚支援学校福島校両校の児童生徒と触れ合う時間では、半谷選手が獲得した銀メダルを直接触らせていただきメダルの重さにびっくりしていました。また、選手と握手をしたり、たくさんの質問に答えをいただいたりするなど貴重な時間となりました。(高等部体育科 菅野 瞳)



🌸🌸🌸 令和6年度 🌸🌸🌸

### 会費等の御協力をいただいた方々及び団体等 (敬称略)

今年度も、在籍している幼児児童生徒の保護者の皆様と両校職員に御協力をいただきました。ここには、御協力いただいた旧職員の皆様及び特別会員、関係団体の皆様のみ記載させていただきますので、御了承ください。(個人は五十音順に記載)

## たくさんの御支援・御寄付ありがとうございます。

株式会社三宅新聞店  
守工業株式会社  
社会福祉法人あおぞら福祉会 菊の里  
有限会社大野建築設計事務所  
福島テレビ株式会社

藍原裕子  
阿部教夫  
荒牧美穂  
安藤俊典  
五十嵐登美  
石川浩  
伊藤志津子  
海野薫  
江口和子  
大谷典子  
小野祥一郎  
小野誠子  
小野貴則  
加藤隆正

金子久雄  
菅野孝一  
菅野典子  
菅野美恵  
櫛田省吾  
栗村美智子  
古関綾子  
小檜山宗浩  
齋藤和也  
齋藤洋之  
齋藤智英  
齋藤浩之  
坂本みどり  
佐久間理江

佐瀬由紀子  
郷家俊哉  
佐藤健一  
佐藤正雄  
穴戸英樹  
篠木まち子  
庄子紀子  
末永由美子  
杉山裕恵  
須田博行  
須田康仁  
平祥江  
高橋里子  
高橋英之  
高橋富士子  
田口亜希子  
武田一郎  
田嶋まゆみ  
田中聡一郎  
千代行雄  
千代則子

二瓶睦  
二瓶恵美子  
野内容子  
芳賀公彦  
芳賀孝美  
橋本淳一  
原田道久  
古山敦子  
逸見大介  
皆川美紀  
武藤永治  
村上卓彦  
望木昌彦  
柳内泰二  
藪内敬子  
山内詩織  
油井倫広  
遊佐美弥子  
渡邊葉子

各市町村  
福島市  
会津若松市  
いわき市  
白河市  
相馬市  
二本松市  
南相馬市  
伊達市  
本宮市  
安達郡大玉村  
南会津郡南会津町

### 編集後記



日頃より本後援会に御理解と御支援をいただき、感謝しております。本紙面を通して幼児児童生徒の様子と本会の事業内容について御理解いただければ幸いです。これからも本会活動充実に向けて努力して参りますので、御支援をよろしくお願いいたします。